

議第34号

令和6年度酒田市一般会計補正予算（第9号）について

令和6年度酒田市一般会計補正予算（第9号）について、酒田市長より意見を求められているので、同意するものとする。

令和6年11月21日提出

酒田市教育委員会
教育長 赤坂 宜紀

歳入歳出補正

歳出

（単位：千円）

款	項	目	補正前の額	補正額	計	本年度予算額の財源内訳				
						特定財源				一般財源
						国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
10		教育費	5,479,697	△ 221,925	5,257,772	0	294	△ 243,000	1,800	18,981
	1	教育総務費	1,202,404	680	1,203,084	0	294	0	0	386
		3 指導費	292,277	680	292,957		294			386
	2	小学校費	1,344,118	5,165	1,349,283	0	0	0	0	5,165
		1 学校管理費	464,206	5,000	469,206					5,000
		2 教育振興費	125,041	165	125,206					165
	3	中学校費	806,156	1,800	807,956	0	0	0	1,800	0
		2 教育振興費	68,550	1,800	70,350				1,800	0
	5	保健体育費	1,597,178	△ 229,570	1,367,608	0	0	△ 243,000	0	13,430
		1 スポーツ振興費	1,597,178	△ 229,570	1,367,608			△ 243,000		13,430

継続費補正

(廃止)

(単位：千円)

款	項	事業名	補正前			補正後		
			総額	年度	年割額	総額	年度	年割額
10. 教育費	5. 保健体育費	旧松山中学校体育館整備事業費	580,000	令和6年度	232,000	—	—	—
				令和7年度	348,000		—	—

繰越明許費

款	項	事業名	金額
10. 教育費	4. 生涯学習費	生涯学習施設管理運営事業	13,985
	5. 保健体育費	体育施設整備事業	53,909
	5. 保健体育費	八幡体育館改築事業	98,527

債務負担行為補正

(追加)

(単位：千円)

事項	期間	限度額
校務用パソコン購入費	令和6年度から令和7年度まで	61,052
学習バス・スクールバス運行業務委託料	令和6年度から令和7年度まで	167,803
教師用教科書・指導書購入費（小学校）	令和6年度から令和7年度まで	14,415
教師用教科書・指導書購入費（中学校）	令和6年度から令和7年度まで	23,105

(変更)

(単位：千円)

事項	補正前		補正後	
	期間	限度額	期間	限度額
学校給食調理業務委託料（若浜小学校ほか5校）	令和6年度から令和9年度まで	239,175	令和6年度から令和9年度まで	250,740

令和 6 年度酒田市一般会計補正予算 (第 9 号) の概要
(教育委員会関連分)

1	補正予算規模	△221,925 千円
2	補正後の予算規模	5,257,772 千円
3	補正項目及び補正額 (歳出補正)	
<企画管理課>		
①	小学校管理事業	5,000 千円
	修繕料の増額 (修繕料 5,000 千円)	
	[現計 315,856 千円 + 補正額 5,000 千円 = 補正後 320,856 千円]	
<学校教育課>		
①	教育相談事業	330 千円
	消耗品費の増額 (消耗品費 330 千円)	
	[現計 19,591 千円 + 補正額 330 千円 = 補正後 19,921 千円]	
②	教育 D X 推進事業	0 円
	手数料増額による予算科目の組替 (手数料 1,119 千円、備品購入費 △1,119 千円)	
	[現計 105,400 千円 + 補正額 0 円 = 補正後 105,400 千円]	
③	スポーツ・文化活動支援事業	350 千円
	部活動指導員配置に係る経費の増額 (報酬 350 千円)	
	[現計 8,488 千円 + 補正額 350 千円 = 補正後 8,838 千円]	
④	小学校教材等充実事業	165 千円
	消耗品費増額及び予算科目の組替 (消耗品費 215 千円、使用料 156 千円、備品購入費 △206 千円)	
	[現計 42,541 千円 + 補正額 165 千円 = 補正後 42,706 千円]	
⑤	中学校教材等充実事業	1,800 千円
	企業からの寄附による楽器購入費の増額及び予算科目の組替 (修繕料 15 千円、消耗品費 △25 千円、使用料 10 千円、備品購入費 1,800 千円)	
	[現計 32,232 千円 + 補正額 1,800 千円 = 補正後 34,032 千円]	
<スポーツ振興課>		
①	体育施設管理事業	11,076 千円
	修繕料等の増額 (施設修繕料 10,082 千円、消耗品費 311 千円、手数料 298 千円、使用料 286 千円、体育用器具購入費 99 千円)	
	[現計 330,067 千円 + 補正額 11,076 千円 = 補正後 341,143 千円]	

② 体育施設整備事業 △5,796 千円

陸上競技場トラックの改修に係る償還金の皆減（償還金△5,796 千円）

〔現計 256,728 円＋補正額△5,796 千円＝補正後 250,932 千円〕

③ 旧松山中学校体育館整備事業 △234,850 千円

旧松山中学校校舎の解体工事費及び市体育館の受電電圧変更工事費の皆減（工事請負費△234,850 千円）

〔現計 234,850 千円＋補正額△234,850 千円＝補正後 0 円〕

（主な歳入補正）

<学校教育課>

① 県支出金 294 千円

・ 部活動指導員配置促進事業費補助金 294 千円

② 寄附金 2,100 千円

・ 中学校費寄附金 2,100 千円

（うち 300 千円は文化芸術推進事業へ）

<スポーツ振興課>

① 市債 △243,000 千円

・ 保健体育債 △243,000 千円

（継続費補正）

廃止

事業名：旧松山中学校体育館整備事業費

期 間：令和 6 年度、令和 7 年度

総 額：580,000 千円

（繰越明許費）

① 事業名：生涯学習施設管理運営事業

金 額：13,985 千円

② 事業名：体育施設整備事業

金 額：53,909 千円

③ 事業名：八幡体育館改築事業

金 額：98,527 千円

(債務負担行為補正)

追加

- ① 事 項：校務用パソコン購入費
期 間：令和6年度から令和7年度まで
限度額：61,052千円
- ② 事 項：学習バス・スクールバス運行業務委託料
期 間：令和6年度から令和7年度まで
限度額：167,803千円
- ③ 事 項：教師用教科書・指導書購入費（小学校）
期 間：令和6年度から令和7年度まで
限度額：14,415千円
- ④ 事 項：教師用教科書・指導書購入費（中学校）
期 間：令和6年度から令和7年度まで
限度額：23,105千円

変更

- 事 項：学校給食調理業務委託料（若浜小学校ほか5校）
期 間：令和6年度から令和9年度まで
限度額：250,740千円

令和6年11月21日

令和6年酒田市議会6月定例会における質問要旨

(教育委員会関係)

酒田市教育委員会

◆一般質問について

- ・ 質問順に議員名を記載
- ・ 右側には担当課を記載

2 市 村 浩 一 議員

2 小学校教育における地域史学習について

【学校教育課】

(1) 現状について

酒田市教育振興計画で「郷土愛を育み、地域と協働する教育の推進」を掲げ、「ふるさと教育」の推進に取り組んでいるが、地域史学習についての取り組みについて現状を伺う。

(2) 授業の一環として取り組むべきではないか

小学校教育において地域史学習を授業に取り組みさらに充実させていくべきだと考えるが、所見を伺う。(3) 地域史教育における教育長の考え方は 地域史教育について、教育長の考えを伺う。

3 佐 藤 伸 二 議員

1 本市中学校部活動改革について

【学校教育課】

(1) 部活動の現状

生徒数の減少により、部活動が厳しい状況と話を聞くことがあるが、合同チームでの大会出場など市内中学校部活動の現状認識と所感を伺う。

(2) 地域移行推進計画

部活動の地域移行について、国、県の方針を踏まえて、本市では今後どのように進めていくのかを伺う。

4 進 藤 晃 議員

1 熱中症対策への本市の取り組みについて

(1) 小中学校の取り組み 【学校教育課・スポーツ振興課】

熱中症対策として、小中学校が学校独自で取り組んでいる対策について伺いたい。また、「熱中症特別警戒アラート」が出た場合の対応についても伺いたい。

(2) 保護者およびスポーツ少年団や中学校部活動における外部指導者への周知と取り組み 【学校教育課・スポーツ振興課】

小中学生の保護者およびスポーツ少年団、中学校部活動における外部指導者への熱中症に対する啓発と指導について伺う。

8 齋 藤 美 昭 議員

2 中学校部活動の地域移行について 【学校教育課】

(1) 現在の取組状況について

令和5年度は「移行目的の理解促進」「人材発掘・育成」「組織確立・物的環境整備」の3点、令和6年度・7年度は「受け皿となるクラブの設立」「人材発掘・育成」「クラブ支援、クラブの広域化」を重点課題として取り組んでいる。令和5年度までの具体的な取り組みについて伺う。

(2) 今後の課題と取り組みについて

中学校部活動改革の中で、移行目的の理解促進など10点課題として挙がっている。また、具体的な地域移行のイメージとして、6パターンの移行例の周知、そして、「指導者確保、育成」や「生徒、保護者の負担軽減」などの財源の確保など「今後の課題と取り組みについて」伺う。

11 佐 藤 弘 議員

1 教育次長職（教育職）減による教育行政への影響について 【学校教育課】

(1) 令和6年度、教育次長職（教育職）を減らし1人体制に戻したことについて

平成31年度、教育部長を1人体制から教育次長2人体制にしたのは、教育委員会の機能強化のためだったのではないか。教育次長の職務は、どのようなものだったか。また、教育次長を1人体制に戻したのはなぜか伺う。

(2) 教育次長職減による教育行政への影響について

教育次長（教育職）が担っていた職務は、誰が担当するのか。教育次長が一人で2人分の仕事をするようになるのか。

14 安藤浩夫議員

1 増加する小中学生の不登校について

【学校教育課】

(1) 教員と保護者との認識のずれ

文部科学省が学校側に不登校の理由を調査した結果は「無気力・不安」が最多の51.8%であるが、山形大学地域教育文化学部が不登校の小中学生の保護者らを対象にしたアンケートでは、「教員との関係を巡る問題」が38.3%と最多である。この結果を受けての見解を伺う。

(2) ふれあい教室の現状

令和5年9月定例会において、不登校児童生徒の増加に伴い、活動室や相談室が手狭になってきており、より快適な場所の確保が課題であると答弁があったが、その後の対応はどうなっているのか、また、ふれあい教室の現在の状況について伺う。

(3) フリースクール、不登校特例校、夜間中学校への本市の考え

令和5年9月定例会において、フリースクールとの情報共有や連携を図りたいとの答弁があった。今後、ふれあい教室以外の不登校児童生徒の学びの場についての本市の考えについて伺う。

2 若い世代への防災人材の育成について

【危機管理課・学校教育課】

(1) 10年、20年後を見据えた防災への取り組み

①小中学生への防災教育

小中学生の防災意識の向上を目指した防災教育が重要だと思われるが、本市において、小中学生への防災教育がどのように行われているかを伺う。

②中学校での部活動としての取り組み

本市として、中学生を防災の担い手とする部活動を新たに取り入れることについての所見を伺う。

その他（各課等からの報告）【報告事項2】

件名	仮設スケートリンク（旧松山中学校体育館）の整備中止について
担当課	スポーツ振興課（電話43-6651）
<p>【報告の概要】</p> <p>1 概要</p> <p>昭和47（1972）年に建設した酒田市体育館は、平成6（1994）年から30年にわたり冬季間のみ体育館内にスケートリンクを設置し、市民の健康増進施設として親しまれてきたが、施設の老朽化によりスケートリンクと共に令和5年度末をもって廃止とした。</p> <p>今般、山形県では屋内スケートリンクの整備に向けて検討すると発表したことから、県に対し本市への設置を継続して要望するとともに、冬季間の子どもの遊び場の確保と、本市アイススケート愛好者の健康増進のために、令和8年2月オープンに向けて、旧松山中学校体育館に仮設スケートリンクの整備をすすめてきたもの。</p> <p>2 令和6年度の経緯</p> <p>4月15日 4月招集議会：補正予算（設計委託料11,000千円）</p> <p>16日 松山地区自治会連合会の会議において事業説明</p> <p>6月4日 6月定例議会：補正予算（旧松山中学校校舎解体232,000千円）</p> <p>24日 山形県知事に対して令和7年度酒田市重要事業要望書を提出</p> <p>26日 第1回県屋内スケート施設整備検討会 →これまでの経過と施設基礎調査の概要</p> <p>8月22日 第2回県屋内スケート施設整備検討会 →県スケート連盟副会長（庄内スケート協会会長）より現状を説明 →公共交通機関でアクセスできる村山地域の都市部に整備する方向性案を提示</p> <p>23日 山形県知事記者会見で発表</p> <p>10月10日 山形県みらい企画創造部長 来庁</p> <p>同日 山形県と山形市が屋内スケート施設を含む3つのスポーツ施設の整備に向けた検討を共同で進めると発表</p> <p>3 本市の今後の方向性について</p> <p>①旧松山中学校体育館における仮設スケートリンクの整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮設スケートリンクの設計業務（現在中断）は中止とする。 ・今後の屋内スケートリンク（旧スワンスケートリンクと同規模）の整備については、「酒田市体育施設整備方針：令和2年3月策定」に基づき将来的な課題とする。 <p>②旧松山中学校体育館の整備及び旧松山中学校校舎の解体について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年7月25日からの大雨災害による復旧・復興を最優先とし、その後、「酒田市体育施設整備方針：令和2年3月策定」に基づき関係団体と協議しながら再検討する。 	